

## 再評価結果（平成23年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局 国道・防災課  
担当課長名：三浦 真紀

事業名	日本海沿岸東北自動車道 <small>おおだてきた こさか</small> 大館北～小坂JCT	事業区分	国土交通省 高速自動車国道	事業主体	東北地方整備局
起終点	自：秋田県大館市商人留 <small>あきた おおだて あきひとの</small> 至：秋田県鹿角郡小坂町小坂 <small>あきた かづの こさか</small>	延長	1.4 km		
事業概要 大館北～小坂JCT間は、日本海沿岸東北自動車道の一部を形成し、物流・交通拠点および高次救急医療施設へのアクセス向上を図るとともに、緊急輸送道路の信頼性向上等に大きく寄与するものである。					
H10年度事業化	— 都市計画決定	H13年度用地着手	H16年度工事着手		
全体事業費	643億円	事業進捗率	60%	供用済延長	0 km
計画交通量	3,900台/日				
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.0 (残事業) 2.6	総費用 (残事業)/(事業全体) 265 / 689億円 （事業費：222/645億円 維持管理費：43/43億円）	総便益 (残事業)/(事業全体) 698 / 698億円 （走行時間短縮便益：630/630億円 走行経費減少便益：45/45億円 交通事故減少便益：23/23億円）	基準年	平成22年
感度分析の結果 【残事業】 残事業について感度分析を実施 交通量変動：B/C=3.0(交通量 +10%) B/C=2.3(交通量 -10%) 事業費変動：B/C=2.4(事業費 +10%) B/C=2.9(事業費 -10%) 事業期間変動：B/C=2.5(事業期間 +20%) B/C=2.7(事業期間 -20%)					
事業の効果等 ・国土・地域ネットワークの構築（新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する） ・安全で安心できるくらしの確保（三次救急医療施設へのアクセス向上が見込まれる）他12項目に該当					
関係する地方公共団体等の意見 ○秋田県知事の意見 事業継続に異議ありません。県民の安全・安心の確保、地域活性化を図るため、一層の事業推進をお願いします。 ○以下の団体から、日本海沿岸東北自動車道大館北～小坂JCT間の整備促進について要望あり。 ・北秋田市日沿道・中岱橋建設促進期成同盟会 ・能代港湾振興会 ・日本海沿岸東北自動車道建設促進秋田県北部期成同盟会					
事業評価監視委員会の意見 対応方針（原案）どおり「継続」が妥当である。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 この事業の目的が失われるような道路交通状況の変化及び関連プロジェクト等の変更はない。					
事業の進捗状況、残事業の内容等 事業進捗率60%（うち用地進捗率50%）であり、現在、用地買収及び工事を推進している。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 土地収用法による収用手続きを進めるとともに、任意での用地買収の推進を図る。					
施設の構造や工法の変更等 大館北IC形状の見直し、トンネル断面の見直し（断面縮小）、発生土の有効活用等によるコスト縮減					
対応方針	見直し継続				
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。				
事業概要図					



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。